

地域の課題解決のための活動報告

・記入日：令和 4 年 6 月 20 日 (月)

・作成者： 本 間 義 昭

地域の課題解決のために行った活動を 1 つ選び、できるだけ具体的数値を挙げて報告してください。すべての項目に、一般の人に伝わりやすいようにご記入下さい。

*この報告書はあしや市民活動センターのホームページに掲載されます。

(登録を公開している団体のみ)

団 体 名	
「 と き わ 会 」	
事 業 名：孤高なる生活者の支援活動	日 時 (期 間) 場 所
・孤高なる。一人住まいの人達の社会参加を促し。互助の精神により共に助け合う活動。	・日時：各月第 3 土曜日 AM11:0「定例会」 ・会場：芦屋市保健福祉センター福祉団体室
内 容 (実 績) *実施したことを具体的に	受益者数
・各月第 3 土曜日：「定例会」 & 交流会・懇親会・お誕生日会 etc ・各種歳時行事：お花見・紅葉狩り・バレンタインデーetc ・各種行事：見学会・料理教室・日帰り & 宿泊旅行 etc ・各種講習会 & 勉強会・・・メンバーの提案による各種行事・勉強会の計画・実施・・・ コロナ禍の状況の中に於いて、非常事態宣言が発出された為に、各種活動は、縮小・変更・中止を余儀なくされ。別途事業報告書の通り。創意工夫を重ねながら、活動を継続して居る。	(11) 人
	参加者数
	(11) 人
成 果 (社会へのインパクト) どのようなよい変化を社会にもたらしたかを具体的に	
・《 孤高なる、一人住まいの人達の社会参加を促す活動 》 ※一人住まいの世帯が。全世帯の 40%を越える社会状況の中に於いて。高齢化の進展と共に、孤独死等を始めとする社会的な歪みを露呈し、大きな社会問題として顕在化して来ている。この様な社会から孤立し、孤高な生活を強いられて居る人達との人的なネットワークを構築して社会参加を促し。互助の精神により共に生き助け合い、豊かな時間を創造して。共に幸せを実感出来る社会を目指す活動を、芦屋市 & 福祉協議会等の協力を得ながら、実践している。	
・今後の展望 (どのように継続、発展するか)	
※「ときわ会」の活動の基本である不本意ながら、孤立・孤高な生活を強いられて居る、一人住まいの方の社会参加を促すと共に。互助の精神により共に助け合い慈しみながら、より豊かな時間を創造し。人生を享受し共に喜びを実感出来る社会を目指し、活動を続けと共に。従来より続けてきた・福祉施設への支援等のボランティア活動・孤独死の防止・講習会等を通しての知識・教養の醸成・事故防止・回避の活動等、社会に貢献出来る活動を会員が共に力を合わせ、コロナ禍の厳しい環境の中では有りますが、メンバーと共に、最善の方策を模索・検討しながら、社会的な要請として、活動を続けて参る所存で有ります。	